日本と世界を結ぶ拠点

千葉・成田特集

日本と世界を結ぶ表玄関である成田空港では、航空機発着回数が7年連続で過去最高を更新した。今後もアジアを中心に伸び続ける国際航空需要に対応するため、滑走路新設などの機能強化が決定。格安航空会社（LCC）を中心とした国内線ネットワークの充実も進んでいる。さらに、利用者の増加が想定される2020年東京五輪・パラリンピックを前に、空港へのアクセス網などの整備が着々と進んでいる。

滑走路新設、機能強化決定

発着枠50万回の国際空港へ

18年5月に開港40周年を迎えた成田空港。18年1―12月の航空機発着回数は、前年比1％増の25万5003回となり7年連続で過去最高を更新した。航空旅客数も前年比5％増の4260万1130人で5年連続で過去最高値となった。

インバウンド（訪日外国人）の増加から国際線の需要が伸び続けている。新規乗り入れ、新規就航、増便が相次ぎ、18年の国際線発着回数は開港以来初めて20万回を超え、国際線旅客数も初めて3500万人を突破した。

インバウンドを中心とした国際旅客需要や経済発展の続くアジアの成長を取り込むために、成田空港の役割が高まっている。こうした状況を受け、C滑走路（第3滑走路）新設や発着時間延長など成田空港の機能強化が決まった。

機能強化計画については、千葉県、空港周辺9市町、国、空港を運営する成田国際空港（NAA）で構成する「成田空港に関する4者協議会」が15年から具体化に向けた検討を開始。18年3月に最終的な結論を出し、4者が計画に合意した。

機能強化の柱は、3500㍍のC滑走路の新設、現在2500㍍のB滑走路を1000㍍延伸、夜間早朝の発着制限緩和の3点だ。発着制限は現在の23時―6時の7時間を、0時30分―5時の4時間30分に縮める計画だ。

滑走路新設には10年以上の期間を要すると推測される。実現には約710万平方㍍の新規用地買収も必要で、新空港建設にも匹敵する大規模事業となるが、成田空港の発着枠は現状の年30万回から、将来は年50万回に拡大することになる。

また計画には、需給の逼迫（ひっぱく）が想定される東京五輪・パラリンピックまでに一部の発着制限緩和を実行することも盛り込まれている。これについては、五輪開催時の安全運用に万全を期すため、今年の冬ダイヤ（10月末）から導入することで4者協議会が合意。A滑走路の発着制限時間を従来よりも1時間延長し、発着数の増加に備える。

一方、成田空港では国内線ネットワークの拡充も進んでいる。今年2月時点では国内22都市23路線が就航しており、LCCがけん引している。LCCの今後の需要増に対応するため、NAAはLCC向け旅客ビルの「第3旅客ターミナル」を21年度末までに増築し、現状の2倍に拡張することを決めた。現在の第3ターミナルビルに隣接する第5貨物ビル（建屋面積約9500平方㍍）を撤去して増築する方針で、チェックインカウンターや出発ゲートの増設など、大幅に旅客の受け入れ能力を拡大する。

第3ターミナルで1年間に取り扱い可能な旅客数は現在750万人だが、17年度の時点の旅客数は764万人となり、すでに上回っている。NAAはLCCの旅客数は将来1500万人まで拡大するとみて、第3ターミナルの増築に踏み切る。

日本の空の表玄関として重要性がますます高まっている成田空港

自動運転を制限区域内で実験

地上支援業務を効率化

成田空港の利用者が増える一方で、深刻化する空港の地上支援業務の労働力不足への対応が求められている。こうした中、鴻池運輸と自動運転ベンチャーのZMP（東京都文京区）は18年末、自動走行車両の実証実験を空港の制限区域内で初めて行った。

空港内ターミナル間におけるスタッフの移動を想定し、空港内専用車両などが行き交う中、往復2㌔㍍程度を自動運転走行した。トーイングトラクターなどの車両を認識するアルゴリズムを加えて実現した。

実証は国土交通省が目指す「レベル3」で、発進時や駐車時のみドライバーが操作するが、制限区域内道路を時速15㌔㍍、第1ターミナルから第2ターミナルへの陸橋を同30㌔㍍で自動走行した。

また丸紅とZMPの合弁会社であるAIRO（東京都中央区）は第2ターミナルから南部貨物地区での区間で1月に同様の実証実験を行っている。

空港の制限区域内で行われた自動運転の実証実験

基幹道路・鉄道駅の整備が進展

五輪に向け準備着々

成田空港周辺の基幹道路網整備が着実に前進している。東京外かく環状道路（外環道）と成田空港を結ぶ北千葉道路では、成田市船形―押畑の延長3・8㌔㍍の区間が3月3日に開通する。開通済み区間と合わせて鎌ケ谷市から成田市まで約30㌔㍍の区間が1本の道路でつながる。

北千葉道路の計画延長は約43㌔㍍で、都心と成田空港を最短ルートで結ぶ幹線道路となることが期待されている。

東京五輪・パラリンピックを前に、成田空港にアクセスする鉄道駅の改良・改修の動きも進んでいる。NAA、JR東日本千葉支社、京成電鉄、成田空港高速鉄道の4社と関係行政機関などは「魅力ある成田空港駅への変身」プロジェクト推進委員会を組織し、駅施設の利便性向上への検討を進めている。

これまでに「実施すべき事項」として、空港第2ビル駅のJR二重改札の解消、成田空港駅や空港第2ビル駅へのホームドア整備、多機能トイレ整備などを行うことを検討。一部の施設はすでに整備を終了し、順次使用を開始している。五輪開催まで1年を切る19年には、駅施設の整備も活発になりそうだ。

成田空港はインバウンドの利用が増加している

千葉の発展を支える経営者団体
一般社団法人 千葉県経営者協会
会　長　小島 信夫
〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3
TEL 043-246-1158　FAX 043-246-0729　http://www.chibakeikyo.jp

成田空港を活用して県経済活性化を目指す!
成田空港活用協議会
会長職務代行者　佐久間 英利
http://www.nrt-promo.jp/

千葉県経済同友会
代表幹事　佐久間　英利　　代表幹事　桜田　弘
〒260-8720　千葉市中央区千葉港1番2号（株式会社 千葉銀行内）
TEL：043-301-8746　FAX：043-244-8439

京葉銀行
BANK
あなたと一緒に
未来へと歩みたい。
新しい一歩を踏み出す時、
夢を実現したい時、
ふと将来が不安になった時。
いつでも身近で、
頼られる存在であること。
それが京葉銀行の想いです。

成田から、日本の空へ。
NARITAからの国内線就航都市がますます充実!!
ニッポンが、もっと身近に。
国内線の旅が、もっと気軽に。
LCC 札幌
LCC 函館
新潟
仙台
小松
成田空港 NARITA AIRPORT
LCC 佐賀
LCC 福岡
LCC 長崎
LCC 熊本
LCC 大分
LCC 宮崎
LCC 鹿児島
LCC 広島
LCC 松山
LCC 高松
LCC 高知
大阪（伊丹）
LCC 大阪（関西）
名古屋（中部）
LCC 奄美
LCC 那覇
LCC 石垣
LCC 下地島
3月30日 就航
Narita Airport
成田空港　検索
成田空港公式 WEBサイトはこちら
※2019年2月1日時点

房総休日
アレしたい!コレしたい!
そんなときは、迷わず房総へ。
気軽に行けて、気楽にできる。
みんなのしたい「コト」は房総にある。
JR東日本 千葉支社
房総トコトコ、たびたび体験。
コトたび
JR千葉支社公式SNSで千葉県の観光情報発信中!
下記のアカウント名で検索してね!
boso_kyujitsu
ekichoken2122
JR東日本千葉支社 マスコットキャラクター 駅長犬（えきちょうけん）
コトたび旅行記　コトたび　検索　詳しくは、専用HPをご覧ください。

企業用地のご案内
Kazusa Akademia Park かずさアカデミアパーク 千葉県
www.pref.chiba.lg.jp
『かずさアカデミアパーク』をお薦めする6つの魅力
❶ 東京湾アクアラインや圏央道で首都圏へのアクセスが良好
車で都心へ50分・羽田空港へ30分・成田空港へ60分
❷ 分譲価格9,000円／㎡から・賃貸区画あり
❸ ご進出をバックアップする魅力的な「企業立地優遇制度」
❹ 快適、便利、安心な住環境と豊かな自然
❺ 世界が注目する最先端技術の研究施設「かずさDNA研究所」
❻ 会議施設、ホテル等が一体となったセンター施設「かずさアーク」
現地相談会のお知らせ
御希望に沿って随時ご案内いたします。
【JR 東京駅 八重洲口前②のりばから直通バスで 60 分】
アクアラインによる都心への抜群のアクセス!
都心と房総半島を結ぶ大動脈「アクアライン」。東京・羽田・川崎・横浜へ思いのままの利便性。立地後の物流、商談機会においても大きな強みです。
成田空港 東京 品川 川崎 羽田空港 京葉道路 湾岸道路 千葉東JCT 千葉東金道路 館山自動車道 東京湾アクアライン 三井アウトレットパーク木更津 川崎浮島JCT 木更津金田IC 木更津JCT 木更津 木更津北IC 木更津東IC 松尾横芝IC 東金IC・JCT かずさアカデミアパーク かずさDNA研究所 君津 （仮称）かずさIC（予定）
お問い合わせ　かずさアカデミアパーク研究所等立地推進協議会　www.kazusa-ap.jp
事務局　千葉県商工労働部 企業立地課　〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1 tel: 043-223-2443 fax: 043-222-4092 E-mail park3@mz.pref.chiba.lg.jp
会　員　千葉県、木更津市、君津市、新日鉄興和不動産㈱、㈱かずさアカデミアパーク